

愛知県ウィーク・パート2 オープニング

# 愛・地球の環音楽祭

2005年 9月13日(火) 14:00~17:00  
EXPOドーム



主催 愛知県・岡崎市・豊田市・瀬戸市・春日井市・愛環音楽連盟・中部日本放送



「愛・地球の環音楽祭」ご出演のみなさまへ  
さあ、仲良く、楽しく、元気よく、歌いましょう

さあ、いよいよ、愛・地球博の会場で「第九」を歌う歓喜のときが近づいて来ました。1997年(平成8年)の愛環音楽連盟創設以来、私たちの夢はこの愛知万博で「第九」を歌うことでした。その長年の念願が、ついに成就する 때가来たのです。思い切り大きな声で

全世界に向けて喜びの歌を歌いましょう。

私たちの夢が実現したのも、愛環音楽連盟会員の皆様の日々のご努力あってのことです。また、今回は日本中から「第九」の仲間も集まって、共に歌うことができます。私たち愛環音楽連盟の信条どおり「仲良く・楽しく・元気よく」心残りのない十分に満足いく演奏をいたしましょう。

この音楽祭開催にあたりましては、愛知県と岡崎市・豊田市・瀬戸市・春日井市の4都市が全面的にご支援くださいました。また、五木ひろし様や千住真理子様をはじめ、最高の音楽家の協演という豪華絢爛なプログラムを作ってくださいました中部日本放送や関係機関のスタッフの皆様にも心からお礼申し上げます。

合唱団700名、オーケストラ90名という、まさに壮大で歴史的なステージです。私たち800人の「第九」が、万博会場で3000人のEXPOドームに響きわたるのを思うとき、すでにして強い感動と興奮を禁じえません。

ご希望の皆様一人でも多くご出演いただきたく、舞台設営・楽屋割り・会場へのアクセス・食事など、鋭意努力をいたしましたが、それでもなにかとご不便やご苦労をおかけするものと存じます。なにとぞご寛容のほどお願いいたします。

ご出演の皆様にとっても、ご関係の皆様にとっても、当日がすべてにおいて最高のステージになりますように願っております。

さあ、舞台にお上がり下さい。

2005年 9月13日 愛環音楽連盟理事長 都築正道



愛知ウィーク・パート2 オープニングコンサート

「愛・地球の環音楽祭」

第1部 《愛の挨拶》

ヴァイオリン：千住真理子/指揮：初山和明

演奏：愛環音楽連盟オーケストラ/愛環音楽連盟合唱団

オッフエンバック：「天国と地獄」序曲から「ギャロップ」(オーケストラ)

エルガー：「愛の挨拶」(オーケストラ・千住真理子)

モンティ：「チャルダッシュ」(オーケストラ・千住真理子)

シベリウス：交響曲「フィンランディア」(オーケストラ・合唱)

エルガー：行進曲「威風堂々」第1番(オーケストラ・合唱)

第2部 《故郷への手紙》

ヴォーカル：五木ひろし/指揮：ボブ佐久間

演奏：ボブ佐久間バンド/愛環音楽連盟オーケストラ/愛環音楽連盟合唱団

ふりむけば日本海(合唱)/長良川艶歌/千曲川/山河(SANGA)/Love song for you(合唱)

指揮：吉川 朗 演奏：愛環音楽連盟オーケストラ/愛環音楽連盟合唱団

源田俊一郎 作編曲：混声合唱のための唱歌メドレー「ふるさとの四季」

第3部 《歌声は世界につなぐ》

指揮：アレキサンダー・ドゥリチャー

ソプラノ：アンドレア・ラング/アルト：ミカエラ・メーリンク

テノール：ステファン・ハイバッハ/バリトン：アンドレアス・ヤンコヴィッチ

演奏：愛環音楽連盟オーケストラ/愛環音楽連盟合唱団

ベートーヴェン：交響曲第九番 ニ短調 より「第4楽章」

「愛・地球の環音楽祭」交響曲第九番 出演者紹介



【指揮】アレキサンダー・ドゥルチャー Alexander Drcar, Conductor

いま、ヨーロッパのオペラやコンサートでもっとも活躍中の実力派ベテラン指揮者。1966年ミュンヘン生まれ。1992年にウィーン音楽大学の大学院で指揮のディプロマ(資格証明)を取り、オーストリア教育省から名誉賞を受けました。大学では、指揮をカール・エステルライヒャーに、作曲をトーマス・クリスチアン・ダヴィットに、コンサート・ピアノをノエル・フローレスに学びました。ハラルド・ゲッツの下でオペラ指導者(コレペティトゥーア)としての研鑽を積みました。1995年以来、クラゲンフルト(オーストリアのケルンテン州の首都)の準音楽監督をはじめとして、ハンブルクやマイニンゲンやミュンヘンやバルセロナの歌劇場を中心に、モーツァルト(《フィガロの結婚》・《コシ・ファン・トッテ》)からベルク(《ルル》)まで、幅広いレパートリーを高度の演奏で聴かせて、劇場の内外で多くのファンを集めています。1997年以来、春日井市の「第九演奏会」の指揮者として数度来日。愛環音楽連盟との関係も深く、「歌劇《こうもり》：オルロフスキー邸へようこそ」(1999)や「千人の第九」(2000)でも指揮をつとめました。2005年の2月にも来日して、愛知芸術センタープロデュース「プレ愛知万博：青髭城の扉」を指揮して絶賛をえました。

【ソプラノ】アンドレア・ラング Andrea Lang, Soprano

いまヨーロッパでもっとも活躍中の若いソプラノです。ドイツのシュヴァーベン地方で生まれました。父も母も音楽家で、幼いときから児童合唱で歌っていました。16才の時に抜擢されて《フィガロの結婚》のバルバリーナを歌いました。ベルリンの音楽学校で学び、シュトゥツガルトの国際バッハ・アカデミーではヘルムート・リリングの指導を受け、数々の賞を得ました。ベルリン・フィルのバッハの「クリスマス・オラトリオ」でコンサート歌手としてデビュー。オペラでは《ドン・パスカール》のノリーナや《薔薇の騎士》のゾフィーや《後宮からの誘拐》といった主役を歌いました。2003年に来日して、《フィガロの結婚》のスザンナで絶賛を博しました。

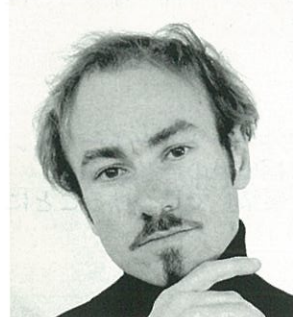


【アルト】ミカエラ・メーリンク Michaela Mehring, Alto

ケルン生まれ。ドイツ・デトモルトの国立音楽院でエリザベート・ラッハマン女史から声楽を学び卒業。1990年から92年までミュンヘンのバイエルン国立歌劇場のオペラ研修所の会員となって大舞台で本格的なプリマ歌手として活躍。1992年からクレフェルト・メッヘングラードバッハ劇場の専属アルト歌手となります。1999年と2000年の2回にわたってメッヘングラードバッハ市の「最高歌手劇場賞」を獲得しました。2001年からカッセルの歌劇場の専属歌手となって、2003/04にはヒルデスハイム歌劇場のリヒャルト・シュトラウスの歌劇《ナクソスのアリアドネ》に出演しています。初来日の大型アルト歌手です。

【テノール】ステファン・ハイバッハ Stefan Heibach, Tenor

ドイツ生まれの若いテノール、ステファン・ハイバッハは、ベルリンのアイスラー音楽院でスコット・ヴァイルとライナー・ゴルトベルクの両師に学びました。2002年までユリア・ヴァルディのマスタークラスに参加。リヒャルト・ワーグナー協会から奨学金を受けて、2005年5月に優秀マスター賞をえて卒業。2004年から、ベルリン・コミッシュ・オパーの専属歌手として活躍中。これまでに、多くのオペラやオペレッタに出ています。ベルリオーズの《ベアトリーチェとベネディクト》でベネディクトを、モーツァルトの《ドン・ジョヴァンニ》でドン・オッターヴィオを、《魔笛》でタミーノを、ウエーバーの《魔弾の射手》でマックスを、リヒャルト・シュトラウスの《ナクソスのアリアドネ》ではバッカスを歌っています。そのほかにも、ヨーロッパ各地で、歌曲のリサイタルやコンサートでも歌っています。初来日で、愛知万博でのデビューが大いに期待されます。



【バス】アンドレアス・ヤンコヴィッチ Andreas Jankowitsch, Bariton

1971年にウィーンで生まれました。ウィーン少年合唱団でボーイソプラノを歌いました。ウィーン音楽大学で作曲とオルガンを学び、声楽はワルタ・ベリーにつきました。1996年に《ドン・ジョヴァンニ》のレポレロ役などでオペラ・デビューをしました。1998年にエディタ・グルベローバとロッシーニの《セミラーミデ》のニーノの役で共演をしました。バッハの「マタイ受難曲」やヘンデルの「メサイア」ではバスのソロを歌い、《フィガロの結婚》のフィガロやバルトロを歌いました。ウィーンを中心に、多くの現代オペラの主役やコンサートのソリストとしても活躍中。2003年来日。《フィガロの結婚》の伯爵を歌って好評。

## この世で見つけた幸せ

— ベートーヴェンからのメッセージ —

「愛・地球の環音楽祭」実行委員会委員長  
都築正道(愛環音楽連盟理事長)

**異端の交響曲** ベートーヴェン(1770-1827)の「第九交響曲」(1824)は、終楽章に4人のソリストと合唱が入った異端の交響曲です。「なぜ異端か」と言えば、「シンフォニー」(交響曲)は、もともとオペラを演奏するときに開演前にオーケストラが行う「音合わせ」(sym=合わせる・fonia=音)であって、器楽曲のための音楽に限定されていたからです。また、「なぜ交響曲の終楽章に声楽を加えたのか」といえば、この「第九番」が彼の最後の交響曲であり、その終楽章は彼の一連の交響曲の最終楽章でもあるからです。音楽史を少しのぞいただけでも、最後の交響曲の最後の楽章が、結果的にそうなったとしても、その作曲家の従来の交響曲の構成とは全く違った異質なものである例は意外に多いのです。ブラームスの「第四番」の終楽章(パッサカリア)、ブルックナーの「第九番」の終楽章(は完成されなかったので「テ・デウム」)、チャイコフスキーの『悲愴』の終楽章(アダージョ・ラメントーソ)、マーラーの「第九番」の終楽章(アダージョ=フィナーレ)と並べれば、単なる偶然であるとしても、少々気になるところです。たとえ無意識であっても、後世の私たちに向けられた作曲者からの直接の「遺言」(マニフェスト)なのではなからうかと思えるからです。

**もっと心楽しく喜びにみちた調べを歌おう** 例えば、このベートーヴェンの「第九番」の終楽章です。長い序奏のあと、テキストとして用いられたシラーの詩が歌い込まれる前に、バリトン・ソロがまるで宣言文を読むように朗唱する箇所が挙げられます。「おおわが仲間たちよ、このような調べではなく、もっと心楽しく喜びにみちた調べを歌おうではないか」と歌うこの冒頭での呼び掛けは、シラーの詩を始める前にベートーヴェン自身が書き記した序詞です。この個人的な発言は、言葉を持つ終楽章がベートーヴェンの「マニフェスト」(宣言文)であることをはっきりと現わしているといえましょう。

**シラーの『歓喜の歌』** ベートーヴェンが最後の交響曲の最後の楽章にテキストとして用いたのは、8節からなるシラーの詩『歓喜に寄せる頌歌(しょうか)』なのですが、その中から人類愛を力強く賛えた詩句を自由に抜粋して再構成したものです。しかし、ベートーヴェンは、この「第九交響曲」の完成に先立つ31年も前に、一度、シラーのこの詩に作曲をしようと試みたことがありました。1792年(22歳)、その時彼はボン大学の聴講生でした。シラーの詩の初版時の9節全部に歌を付け、通作歌曲として独立した合唱曲にしようと考えていたようです。しかし、「命名祝日」序曲(作品115)にこの合唱曲の流用を思いついたものの、結局、『歓喜に寄せる頌歌』の音楽化の企ては実現しませんでした。

**難解な現代詩と前衛音楽** その後も長い間、ベートーヴェンがこだわり続けてきたシラーの詩は、やっとのことで最後の交響曲に生を受けることとなります。1824年5月7日ケルントナートール劇場で初演されたときには、それが時代をはるかに先取りしていたために、すべての人から理解され祝福された誕生とはなりません。当時の人々にとってこの詩は、大衆になじみ深い宗教詩でも聖句でも古典詩でもない、彼らと同時代の詩人フリードリッヒ・シラー(1759-1805)の啓蒙思想やフリーメイソンの信念を語る現代詩でありました。このことが、当時のウィーンの人々に、この曲を「難解」なものと感じさせた原因のひとつでもあります。しかし、それ以上に彼らが強い戸惑いを覚えたのは、絶対音楽である交響曲に声楽を加えたベートーヴェンの前衛的な音楽技法でした。ベートーヴェン自身も、「この試みは単なる暴挙にすぎず、完全に間違いであって、いつか純粋音楽の終楽章を書こう」と弟子のツェルニーに語ったということです。

**歓喜は神々の火花である** しかし、ベートーヴェンが、この暴挙をどれほど真剣に反省していたかは疑問です。結局、この改作案は実現されずに終わりました。私は、このエピソードにもかかわらず、「ベートーヴェンは、最後の交響曲が理解されないままに終わることを恐れず、あくまでも言葉によるメッセージの必要性を主張し、最後までその主張を放棄しなかったのだ」と思います。この曲には何か、人間として、作曲家として、社会に対して果さねばならぬベートーヴェンの「義務の念」といったものが強く感じられるからです。ここで私たちは、次の挿話を思い出します。ある人が、シェーンベルクに訊ねました「どういう訳でベートーヴェンは、「第九交響曲」を乱雑だといわれながらも、書きつづけたのですか」。彼は言いました、「答は一つしか知らない。言わねばならぬことがあったからだ」。正にその通りで、彼には言わねばならぬことがあったのです。冒頭の1節「歓喜は神々の火花である」がそれです。ここでの「歓喜」は、私たちが日ごろ思っているような、食べたり飲んだり遊んだりの「快楽」や「欲望」の結果としての「歓喜」のことではありません。詩をよく読んで見ますと、「欲望はウジ虫にくれてやった」という一節もあり、個人的な快楽や欲望をはっきり否定しています。

**共通体験から生まれる感動** シラーの言う「歓喜」とは、個人を離れて理想的な人類愛をめざす、極めて精神的な満足感や充実感を言うのでしょうか。一人の友と真の友人になった人、一人の優しい女性を勝ち得た人、その人が自分のものだと言える人—こう言った人々こそ「歓喜」を知った人たちです。この歓びの感情を知った人たちだけが、兄弟となるのです。鉄と鉄がガスや電気のバーナーで何千度にも熱せられると、どろどろと溶けだしてお互いがくっつくように、普段は別々の興味や考えや心をもつ人たちでも、「子どもが生まれた」「大学に合格した」「ノーベル文学賞をもらった」となるとみんなが肩を抱き合って大喜びをします。なんであって、なにか共通の喜びがあれば、それが火花となってすべての人の心を溶かし、思いを一つに結びつけるのです。すなわち、「歓喜」は「共通体験から生まれる感動」のことだといっているでしょう。本日のみなさまのように、1900年代最後の年を記念するために、家族そろって「第九」を聴くのもこの「歓喜」を求めてのことだと思われま。

**理想的な人類愛** さらに、「歓喜は、また、楽園からやってきた乙女だ。神々の火花によって、私たちが火のように酔うならば、そこで初めて歓喜の聖域に踏み込むことができるのだ」とシラーは歌います。「人類の心はもともと一つであったのだ。それが戦争や飢饉や恐慌や独裁といった時の流れで、いままでの友が新たな敵となり、仲間を殺したり嘲ったり軽蔑したりするようになったのだ」と。それほど激しく憎み合い、もう修復が効かなくなった関係であっても、「歓喜はまた再び私たちの心を結び合わせてくれる。これを魔法の力と言わずして何といおうか！」とシラーは人類の心の底に流れる歓喜の力を力説しているのです。もちろん、これはベートーヴェンのマニフェストでもあります。すなわち、個人を離れて理想的な人類愛をめざす、極めて精神的な満足感や充実感のことです。さらに、彼はいいます「歓喜とはなにか。それは、この世で幸せを見つけたことをいうのだ、例えば、真の友を得た人、優しい女性と結婚した人、だれかに確かに愛されていると感じる人こそ、歓喜を知る人なのだ。もしあなたが、このどれも知らないのならば、私たちの仲間になることはできない。涙を流して去っていきなさい」と。

さあ、現代に生きる私たちはこのシラーとベートーヴェンのメッセージに対してどう答えればいいのか。それを、この「愛・地球の環音楽祭」で見つけることにいたしましょう。

## 参加にあたって

### ★！重要！注意事項★

- ①9月上旬に配布する「**業務入場許可証(及びバックステージパス)**」は**当日必ず持参してください。**  
**2つの許可証がない場合はいかなる場合も会場内へ入ることができませんのでご注意ください。**
- ②下記の直行便、ピストン便以外を利用して会場へ入る場合、愛環八草駅・リニモ万博会場駅は大変混雑が予想されますので、時間に余裕を持って到着できるようにしてください。  
\*ピストン便の乗車・交通機関の詳細時刻については所属団体にて確認してください。
- ③ピストン便以外で万博会場へ入場する場合は、各ゲートにある**【業務用ゲート】**を使用してください。  
\*【業務用ゲート】は24時間入場が可能です。  
\*ゲートの場所がわからない場合は付近にいる協会職員等に許可証を提示してお尋ねください。  
\*各ゲートからEXPOドームまで徒歩で30分以上かかる場合もあります。時間に余裕をもって入場するようにしてください。  
**混雑を避けるため、一般ゲートが開く前に会場へ入ることをお勧めします。(8時頃が適当)**  
**EXPOドームの関係者入口は8時30分に開場します。(地図参照)**
- ④一般入場券を持っている場合も、必ず「**業務入場許可証**」にて**【業務ゲート】**より入場してください。
- ⑤イベント終了後、**Tシャツを着用したままや、「業務入場許可証」を下げたまま会場内を歩かないよう**にしてください。

\*「業務入場許可証」は名実とおりに「業務で入場する」ための許可証です。原則としてパピリオンの見学はできないことになっています。有料で入場券を購入して来場している方の観覧の妨げにならないよう配慮してください。

過去のイベントでユニホームを着たまま(許可証を下げたまま)パピリオンを見学した方に対して来場者より多くの苦情が協会へ寄せられていますのでご注意ください。

## 会場までの輸送について

**【直行便】役員他希望者 \*定員55名または60名 できるだけ満席で運行してください。**

★岡崎市(60)……岡崎総合中央公園(AM7:00)⇒万博 EXPO ドーム(AM8:00)

★豊田市(60)……豊田市視聴覚ライブラリー(AM7:20)⇒万博 EXPO ドーム(AM8:00)

★春日井市(55)……JR高蔵寺駅南口(AM7:00)⇒万博 EXPO ドーム(AM8:00)

★春日井市(55)……JR高蔵寺駅南口(AM7:00)⇒万博 EXPO ドーム(AM8:00)

**【ピストン便】愛環鉄道利用者 \*駅前に待機している係員の指示に従ってください。**

★愛環「篠原駅」⇒万博 EXPO ドーム AM8:10~11:00(最終) … 随時ピストン輸送

★愛環「山口駅」⇒万博 EXPO ドーム AM8:10~11:00(最終) … 随時ピストン輸送

\*万一、ピストン便に乗り遅れた方はリニモで会場までお越しください。

**北ゲートの業務入場口より業務入場証を提示して入場し、各自でドームへお越しください。**

## ステージ衣装について

合唱団……【上】⇒配布された規定のTシャツ(サイズ統一)

【下】⇒黒っぽい服装(スカート・ズボン等 自由)

\*ロングスカートの必要はありません。

\*着用して入場してください。控室は男女共同です。

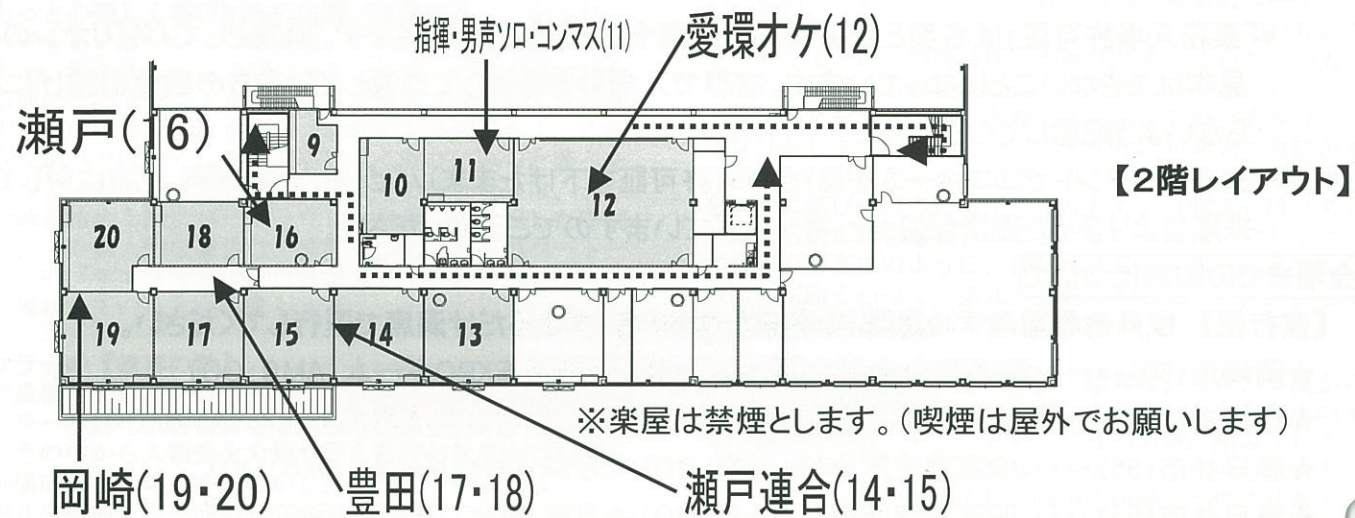
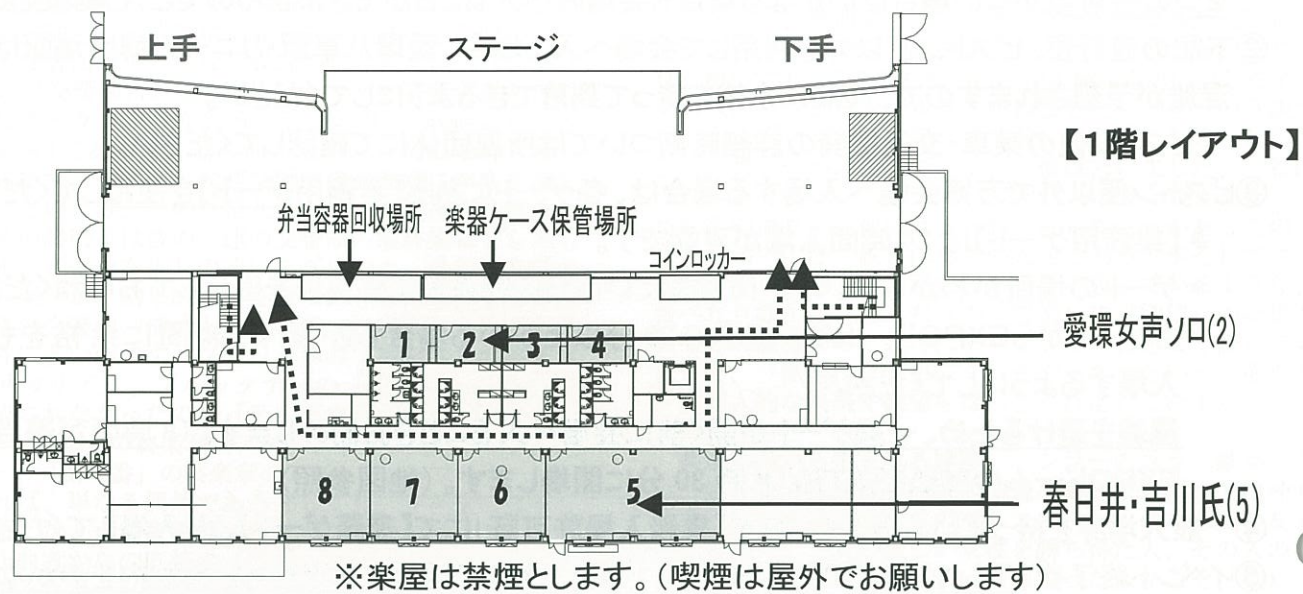
オーケストラ……【上】⇒(男性)白ワイシャツ・長ネクで色は自由 (女性)白ブラウス

【下】⇒(男性)黒ズボン (女性)黒ロングスカートまたはパンツ

\*控室にて男女交代で着替えます。

**バックヤステージ(楽屋)配置について**

バックステージ(楽屋)は限られたスペースしかありません。  
各団体とも協力し合ってスムーズに利用していただきますようお願いいたします。



**★注意事項★**

- \* 団体の楽屋割りはおおよその目安です。場合によっては他団体の方でも譲り合ってください。室内で対応できない場合はピストン輸送用のバス①～④号車(ドーム裏停車)を適宜利用してください。
- \* 楽屋は原則として荷物置き場です(男女共有)。合唱団はユニホーム着用の上、入場してください。**施錠はしませんので貴重品は各自で責任を持って管理してください。**(コインロッカー等の利用)
- \* 楽屋は使用した団体で責任をもって【現状復帰】と【清掃(ゴミは持帰り厳守)】をお願いします。

**ステージへの動線について**

1階・2階とも上手・下手に分かれてステージへ入場します。ステージ袖には十分なスペースがないため、楽屋前の廊下等を利用して並んでください。【……………▶参照】

各パートとも団体ごとにまとめて整列してください。

- 上手……⇒ベース(71)・アルト(230) \* 舞台袖スペースの都合で上手の人数を多くします。
- 下手……⇒オーケストラ(86) \* 合唱団より先に入場
- ⇒ ソプラノ(157)・テノール(58) \* オケ入場完了後入場

\* 入場の際は係員の指示に従い、スムーズな移動にご協力ください。

**弁当の配布について**

- ①各団体の楽屋へ注文数分をまとめて梱包入荷しますので団内で責任をもって配布してください。  
(同一団体で楽屋が分かれている場合はどちらかにまとめて搬入しますので適宜配布してください)
- ②弁当を購入された方は引換券を忘れずに持参してください。
- ③ドーム外や周辺の会場など、一般来場者の目に触れる所へ弁当を持ち出さないでください。  
(業者仕出弁当は通常会場への持込が禁止されているものです。今回は特別に許可をとっています)
- ④空容器は午後1時30分までに各自で指定場所(1階)へ返却してください。【時間厳守】
- ⑤午後2時以降は業者による回収はできません。各自で持ち帰りください。  
**会場内のゴミ箱への投棄は厳禁とします。**

**当日スケジュールについて**

AM 7:00 オケ 楽器搬入(5番・西管理ゲートより指定車両にて運搬)

9:00 出演者集合

オケ⇒ステージ

\*オケ音出し

合唱団⇒ドーム客席

\*合唱団入場方法の説明

9:30 第1部 通し リハ

10:30 第2部 ふるさとの四季 リハ

11:00 第3部 第九 リハ

\*瀬戸第九連合の方、第九のみ参加者は

11:30 第2部 五木曲 リハ

指示があるまで、客席にて待機

12:30 リハ 終了

出演者 昼食

13:00 開場

13:40 舞台袖(控室前廊下)待機

ステージ 入場

\*開演～終演まで(約3時間)ステージ上に拘束となります。  
1・2部は途中着席しますが体調管理は各自でお願いします。  
万一、途中退場した場合は再度ステージへは上がりません。  
(水分の取りすぎに注意し入場前にトイレを済ませましょう)

14:00 開演

愛知県ウィークII オープニングセレモニー(20分)

14:20 第1部 <<愛の挨拶>>

「天国と地獄」「愛の挨拶」「チャルダッシュ」「フィンランディア(合唱)」「威風堂々(合唱)」

15:00 第2部 <<故郷への手紙>>

「ふりむけば日本海(合唱)」「長良川艶歌」「SANGA」「千曲川」

「ラヴソングフォーユー合唱」「ふるさとの四季」

16:00 第3部 <<歌声は世界につなぐ>>

ベートーヴェン交響曲第9番 合唱付 第4楽章

アンコール「第九」第4楽章 M部分(日本語訳)

16:30 終演

観客退場後 ステージ上にて 音楽祭関係者 閉会セレモニー

**楽譜について**

\* 基本的に全曲暗譜が望ましい。

「第九」は暗譜とし、第1・2部の楽譜を持つ場合は演奏順に整理してひとつにまとめ、見開きA3の大きさで<<白い表紙>>をつけてください。(表紙は各団体で対応)

**終演後の輸送について**

演奏会終了後、準備ができ次第ピストン輸送を開始します。

- 【ピストン便】 愛環鉄道利用者 \*ドーム裏に待機しているバス乗務員の指示に従ってください。**
- ★万博 EXPOドーム⇒愛環「篠原駅」 終演後随時ピストン輸送開始～利用者を搬送し終えるまで
  - ★万博 EXPOドーム⇒愛環「山口駅」 終演後随時ピストン輸送開始～利用者を搬送し終えるまで
  - \* 第1便のみ⇒愛環「山口駅」⇒瀬戸文化センター

**【直行便】 役員他希望者 \*定員 55名または60名**

ピストン便終了後、会場の撤収状況により(PM7:00頃)

- ★岡崎市(60).....万博 EXPOドーム⇒岡崎総合中央公園
- ★豊田市(60).....万博 EXPOドーム⇒豊田市視聴覚ライブラリー
- ★春日井市(55)....万博 EXPOドーム⇒JR高蔵寺南口
- ★春日井市(55)....万博 EXPOドーム⇒JR高蔵寺南口

**【その他】**

**◀上記輸送便を利用しない場合の注意事項▶**

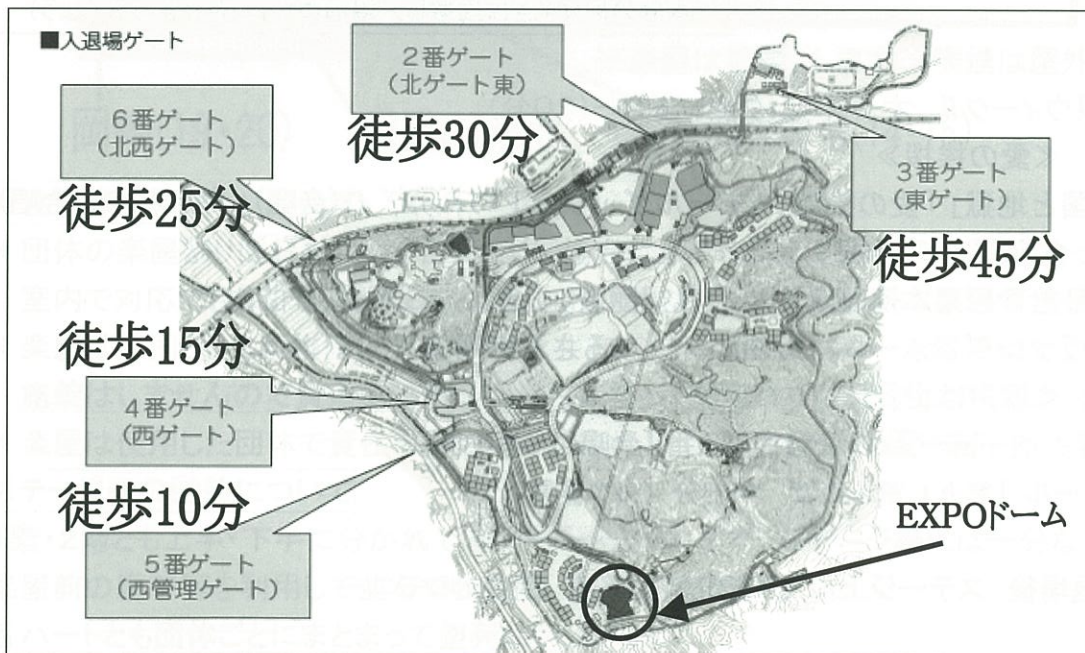
★各自でゲートを通り会場外へ出る場合は、必ず**【業務ゲート】**を通り、「業務入場許可証」を返却してください。「業務入場許可証」をはずして一般ゲートから出る行為は硬く禁止されていますので、**ルールを遵守してください。**

★発行された「業務入場許可証」は必ず回収することが義務付けられています。(セキュリティ対策)都合により参加出できない方の許可証は責任者が事前に預かって必ず**当日返却**してください。

★万一、回収できず手元に残ってしまった場合は9月18日必着で下記まで返送してください。  
〒470-0307 愛知県豊田市東広瀬町極楽 14-18 佐藤里佳

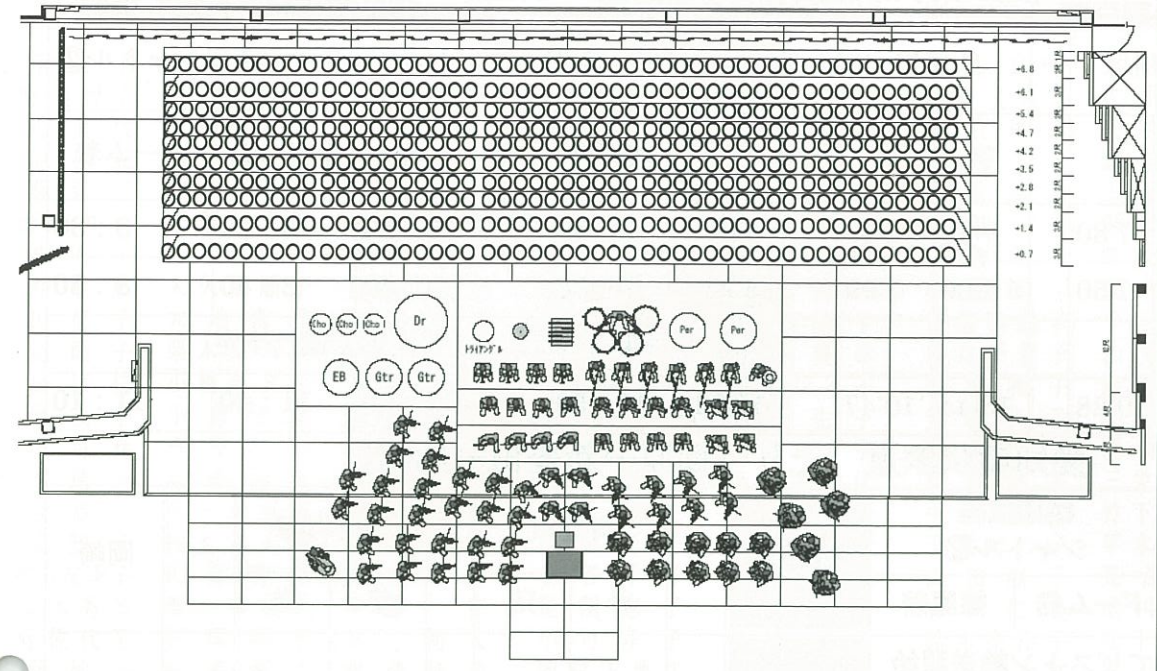
★イベント終了後、長時間会場内に滞在する時はTシャツを着用して(「業務入場許可証」を下げたまま)会場内を歩かないでください。一般来場者よりの苦情の対象となります。

**【業務用ゲート配置地図】**

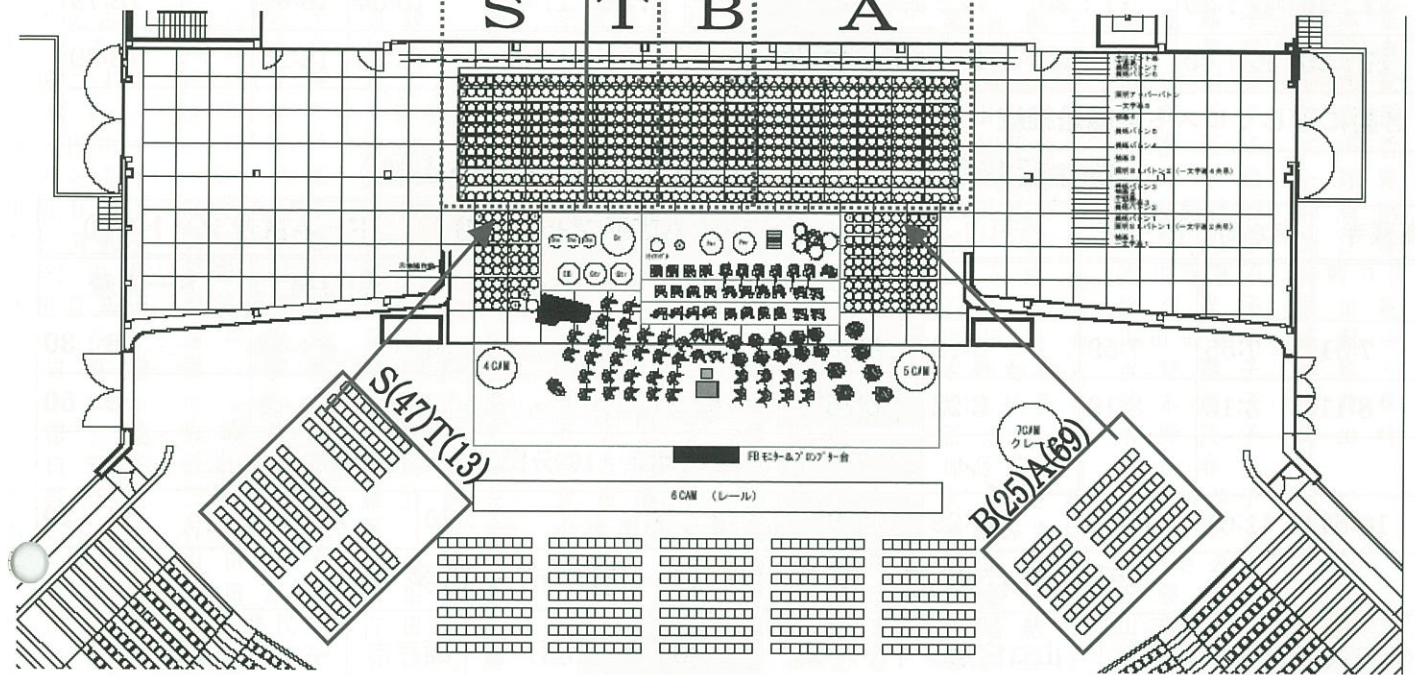


- \* 専用バスを利用しないで会場へ入退場する参加者は必ず上記の業務ゲートを使用してください。
- \* 通行許可証が発行されている楽器搬入車両は、5番ゲート(西管理ゲート)より入退場してください。  
**【事前申請許可がない車両は会場への乗入れはできませんのでご注意ください。】**

**【ステージ配置図(第1・2部)】**



**【ステージ配置図(第3部)】**



**【ドーム裏車両駐車配置地図 \*下記○印の大型バスは控室として使用可】**

